



主な内容



特集

人口減少を食い止める為に

- 3月定例会 一般質問に7人登壇 13
- 3月定例会 3月定例会採決結果 21
- インタビュー「かるまい町に住んでみて」 24

今回の表紙は
放課後児童クラブ

放課後児童クラブが農村勤労福祉センターから旧軽米幼稚園の建物へと移転となりました。今回の表紙は放課後児童クラブでの生き生きとした児童たちの1枚です。

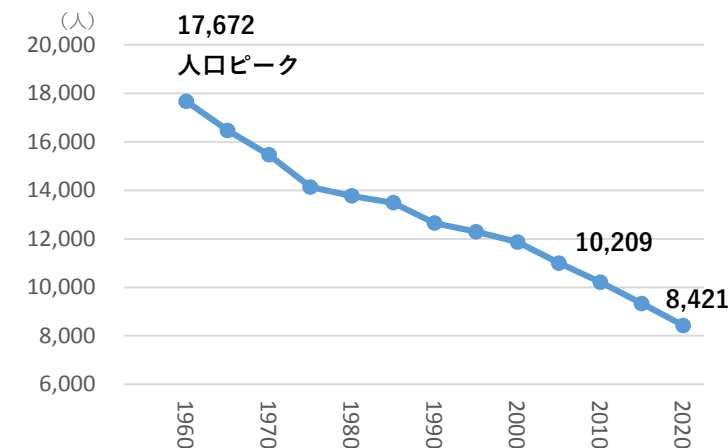
人口減少を 食い止めるために

町議会ホームページ
QRコード▶



議案17件すべて可決

3月定例会（第8回定例会）が、2月28日から3月13日までの15日間の会期で開かれ、補正予算3件、令和6年度一般会計予算など提案された議案17件すべてを可決しました。今回の特集では12月定例会において人口減少・少子化対策調査特別委員会の間報告で要望した2点について取り上げます。



資料：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

軽米町人口推移グラフ

12月定例会での要望内容

- （１）若者定住対策を推進し、若者世代用住宅建設のための予算措置、併せて移住支援専門員を地域おこし協力隊に求め、移住・定住対策を強力に推進すること。
- （２）鳥獣被害対策を強化し、農業後継者が安心して、農業従事できる環境整備に努めること。

鳥獣被害窓口の一元化

今までは、鳥獣対策は町民生活課と産業振興課で窓口が2つに分かれていた。令和6年度から有害鳥獣の被害にいち早く対応するため、窓口を一元化とし、産業振興課で対応していく。
令和6年度予算は熊、イノシシ、ニホンジカ等の大型獣による被害の増加が懸念されることから、増額計上した。具体的には見回りの費用弁償、轟音玉、忌避剤、猟友会へ貸与するくくりわなの購入を予定している。

跡地の活用

今年度、老朽化した青少年ホームを解体、更地にする予算を計上した。
町営住宅整備も一段落したので、例えば、若者住宅整備をする目的で利用したいという考えもある。跡地活用については今後検討していきたい。



解体予定の青少年ホーム



電気柵



イノシシ（※町内のイノシシではありません）

ぎかいの視点

求められる若者住宅とは

子育てしやすい環境で、家庭菜園を家族で楽しめて、ペットが飼える環境。そこから八戸市、二戸市などに通勤する。そんな若者住宅が必要であると思う。早急に期待する。

鳥獣被害の増加

鳥獣の急激な増加に伴い被害が拡大しており、町民の課題になっている。

町民と連携を図りスムーズな対応、対策を望む。

暮らしと福祉



特産品（例）

敬老会に代えて特産品を配布

問 しばらく敬老会を開催していないが、令和6年度は実施する予定はあるか。

答 会場に集めて開催した場合来た人のみにしか記念品が用意できないので、公平性からも全員に特産品配布の方が良いと考える。そのため令和6年度も対象者全員に町特産品を配布することで考えている。

ぎかいの視点

高齢者の仲間づくり 地域活動の活性化に

高齢化が進む現代、地域における老人クラブは重要な活動と思われるが、各地区で解散が相次いでいる。

高齢者の年代層、元気度の幅の拡がり、老人という言葉への反感がある一方、老人クラブの活動を期待し、楽しみにしている人たちも多い。楽しみが少ない一人暮らし、福祉に頼る社会より、行政主導で、高齢者の仲間づくりを進め、生きがいと自立で、地域活動の活性化を目指すことも重要なまちづくりではないか。

老人クラブ活動が希薄傾向

老人クラブ運営費補助金 **53** 万円

問 高齢化社会であるのに老人クラブの活動が少なくなっている。現在の老人クラブの実態はどのような状況か伺う。

答 以前は各行政区に1つずつある組織であった。現在は年齢が上がっても現役の方が増えたため会員が増えず、老人クラブが減っていくという状況である。老人クラブ活動が希薄になっていることから、代わりになるような事業の実施に努めていきたい。



さわやかカップル祝い金

15組の予算計上

さわやかカップル祝金 **150** 万円

問 昨年1年間でのさわやかカップル祝金の実績を伺う。また当初予算150万円は何組を想定しているのか。

答 令和4年度は9件である。現在商品券5万円と現金5万円を合わせて10万円の給付を実施している。また期待値を込めて15組の予算を計上している。

高速バス利用者へ商品券

宇漢米館利用促進キャンペーン **60** 万円

問 宇漢米館を発着とする盛岡市と東京都の高速バス利用者への商品券配布は令和6年度は実施しないのか。また令和5年度の実績を教えてください。

答 令和5年度の宇漢米館利用促進キャンペーンは12月から始めて2月末時点で金額は14万4千円、申請者の数は71名となっている。令和6年度はオープニングイヤーという位置づけとなっており、丸1年の12月まで実施したいと考えて予算を計上している。



かるまい文化交流センターバス待合室

老人福祉センターの入浴施設修繕

社会福祉施設費修繕料 **88** 万円

問 毎年のように老人福祉センターの入浴施設の修繕料があると思うが、現状を伺う。

答 老人福祉センターの入浴施設は何度か改修を行っているが、今回はろ過装置の部分についての改修となっている。業者の都合もあり、令和6年度予算に計上した。



老人福祉センター入浴施設

ぎかいの視点

宇漢米館の活用

「宇漢米館」は開館以来、各団体の事業、イベント等が開催され、予想以上に多くの人に利用されています。

令和6年度も様々な事業を予定しており、町の拠点として使用されることが期待されます。こぞって町民の皆さまのご参加をお願いします。

補助金の内訳

かるまい文化交流センター開館記念
社会教育団体実施事業補助金 **980** 万円

問 かるまい文化交流センターの活性化ということで、様々な事業を予算化しているが、その内容はどうなっているか。

答 様々な団体の育成、それから活動の強化といった部分に繋がることを想定して助成をしていきたい。

文化コンサート	岩手県にゆかりのある著名な歌手や文化協会所属団体の活動内容に関する歌手などを招へいしコンサートを開催	500 万円
演劇公演	劇団などを招へいし公演を行う。また、町内団体への演技指導等も併せて開催	176 万円
自主演劇公演	町文化協会主催による町民主体の演劇公演を開催	120 万円
映画上映会	子ども向けの映画上映会の開催（年2回実施）	61 万円
	一般向けの映画上映会の開催（年4回実施）	123 万円

ふるさと納税の使途

ふるさと納税推進事業 **1,850** 万円

問 ふるさと納税がどのように使われているのか町民の方に紹介されていないため周知をするべきである。またふるさと納税をしていただいた方へ広報かるまい等を送付し、軽米町の状況を知らせてみてはいかがか。

答 ふるさと納税の使途はホームページでは公開している状況である。寄付していただく際にどの事業に使うか選べるような仕組みである。またふるさと納税を活用した方への広報かるまい等の送付は実施していないため、今後検討をしていきたい。



ふるさと納税

投票区の見直し

問 投票区の見直しが課題となっているが、進捗はどうなっているか。

答 町村合併以来投票区の変更はなかった。令和6年度に見直しをするということで見直し案を作成している。また正式に決定したら町民の皆様への説明を実施していきたいと考えている。

総務・教育

令和6年度から全額支援

岩手県立軽米高等学校
教育振興会事業費補助金 **1,567** 万円

問 大会出場補助について県大会や東北大会に行くときの交通費は、現状どの程度を補助しているのか。

答 令和5年度はJR等の運行3分の2を支援、終日貸し切りのバスやタクシーの借上げ料の3分の2を支援、臨時の移動タクシー等の借上げ料の3分の2を支援していたが、令和6年度からは全額支援していきたい。



貸切バス（イメージ）



令和5年度プログラミング体験教室

プログラミング体験教室

体験会業務委託料 **92** 万円

問 ロボットを活用したプログラミングとあるが、内容はAIということなのか。

答 想定しているのはソフトバンク社のペッパー君というロボットにパソコンでプログラムを組むことで動きを与えたりするプログラミング体験教室を行うことを目的として予算を確保している。

ぎかいの視点

仕事場の確保

軽米町の人口減少対策には企業誘致などで仕事場確保が必要だと考えるが、同時に若者住宅などの整備が必要である。これからの軽米町の政策に期待する。

さるなしの安定生産

さるなしの安定生産には商品開発と販路拡大が必要。森と水とチューリップフェスティバルのような交流人口が増え、町がにぎわうイベント企画が必要だと考えられる。

農地判定にドローン活用

問 農地判定にドローンを活用しているのか。また回数はどのくらいか。

答 令和4年にドローンを導入したが、風に流されやすいためうまくドローンを活用できていない。今後問題点を改善しながら活用していきたい。



町内各山車団

初期離職防止

若年者定着促進事業業務委託料 **40** 万円

問 どういった内容の委託料なのか教えてほしい。

答 二戸管内の4市町村で行っている。職場への馴染みや、初期離職につながらないように研修会を開催する委託料である。管内の事業所総数を軽米町内の事業所数で割った割合に応じて委託料を負担するもの。



農地判定に活用されるドローン

郷土芸能団体の掘り起こし

軽米秋まつり山車団支援交付金 **120** 万円

問 休止している郷土芸能団体の掘り起こしの考えはないか。

答 郷土芸能団体について参加する人員を集めるのが大変難しくなっていることもあり掘り起こしは厳しいと思われる。

産業振興 商工観光

チューリップの球根購入費

雪谷川ダムフォリストパーク・軽米消耗品費 **436** 万円

問 雪谷川ダムフォリストパーク・軽米管理運営費の中の消耗品費の金額が大きい、内容はどうなっているか。

答 ほとんどが令和6年度用のチューリップ球根の購入費となっている。



雪谷川ダムフォリストパーク・軽米

安定したさるなしの収量を

さるなし振興事業委託料 **199** 万円

問 新たな商品開発等を実施しているが、さるなしの生産量は追いついているのか。

答 生産量は年によって変動するが、平均して6t程度の収量となっている。現在のさるなし製品を作る部分は十分間に合っている。ただ大量にさるなしを使うような製品を開発しての販売は今の現状だと厳しい。



さるなしの果実



ぎかいの視点

町内の林道整備について

町道や農道の草刈り等によって維持管理はされていると思うが、林道は雑草や支障木などにより車が通れないところもあり整備されていないと感じる。山火事などにより消防車が林道を使用する可能性もある。いざという時のために道路維持管理も考えてほしい。

消防団について

人口の減少により消防団員の減少がみられるため、消防団の部を統合を検討する必要がある。

5年かけて点検を実施

消火栓維持管理負担金 **456** 万円

問 消火栓が緊急時に開栓しないことがあったそうであるが、どのように点検しているのか。

答 5年ほど前から業者に委託し消火栓の点検を実施している。ただ1年にすべて点検できる個数ではないので5年かけて一巡させて更にまた点検している形で進めている。



消火活動に使用される消火栓



消防団出初式

消防団員の確保

問 消防団員の人手不足が深刻となり、災害時の対応に苦慮していると感じているが、今後の町の対応を伺う。

答 消防団員数は令和5年4月で365人となっており、定数から見れば少なくなっている。報酬の引き上げや災害に従事した際の活動費、運営費交付金の創設といった消防団員の待遇の強化に努めている。今後も一層の対策を検討していく。

道路・消防

継続して環境美化を図る

雪谷川河川敷桜管理委託料 **98** 万円

問 雪谷川沿いの桜の木について、上流の整備も続けてほしいが、下流のてんぐ巣病の木の伐採も考えてほしい。

答 昨年度から桜の管理を行っており、令和6年度も予算計上している。てんぐ巣病と道路に支障のある箇所を予定している。継続して環境美化を図っていききたい。



雪谷川沿い河川の桜

路肩草刈り作業

町道等法面・路肩支障木伐採・草刈り委託料 **500** 万円

問 草刈りや支障木伐採ということで大きい金額だが、業者のみの委託料なのか。

答 町内の土木業者へ委託する金額となっている。交通量の多い箇所、危険な場所を重点的にお願いしている。



草刈り

第8回定例会 7人が登壇 一般質問

一般質問とは
・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
・質問者の順番は通告した順番で行われます
・同一項目についての再質問は2回までできます
・時間の制限はありません



- ・鳥獣被害対策
- ・町道路肩管理状況
- ・若者会議

- ・かるまい文化交流センターの裁判の進捗状況
- ・かるまい文化交流センターの管理運営
- ・生涯スポーツ振興



- ・居場所「トコかる」の今後の運営
- ・防犯カメラの設置の必要性

- ・町の子育て支援と高校支援
- ・町の農業振興



- ・自然災害に対する町の取り組み

- ・過去の「広報かるまい」のPDFデータ保存



町議会HP
QRコード

掲載されている質問・回答は要約されています。全文は町議会ホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。

- ・かるまい文化交流センター運営と敷地から排出された廃棄物の裁判
- ・児童クラブ（学童保育）運営
- ・学校給食
- ・令和6年度予算編成



討 論

議案第12号 令和6年度軽米町国民健康保険特別会計予算

反 対 国民保険の向上に反する



国民健康保険事業の目的は健全な運営を確保して、社会保障及び国民保険の向上に寄与することを目的とする。3か月の短期保険証を交付するということは国民保険の向上に反するのではないかと。

賛 成 医療費の抑制に努めている



町当局では、被保険者数が減少傾向で国保税の自主財源確保が厳しいなか、町民の心と身体の健康づくりに取り組むとともに医療費の抑制に努めており、本議案に賛成とする。

議案第14号 令和6年度軽米町後期高齢者医療特別会計予算

反 対 更なる負担増に反対

後期高齢者医療保険料の引き上げは医療制度を75歳で切り分けた意味がなく本末転倒である。物価高騰で高齢者の生活が厳しい中、更なる負担増に対して反対である。

江刺家 静子 議員

賛 成 公正公平の確保に努めている

低所得者に対する均等割り額の軽減措置を実施して、低所得者の保険料負担に配慮した保険料となっており、公正公平の確保に努めているため、本議案に賛成とする。

田村 せつ 議員

第7回臨時会

2月9日開催

第7回臨時会は2月9日に開催され、軽米町手数料条例の一部改正、上尾田橋橋梁補修工事に係る変更請負契約、令和5年度一般会計補正予算（第9号）の計3件を全員賛成で可決しました。特に一般会計補正予算（第9号）の物価高騰対応重点支援給付金では低所得世帯や子育て世帯の負担軽減を図るということで慎重な審議が行われました。

上尾田橋橋梁補修工事

1,200 万円

（契約業者：有限会社甲斐建設）

物価高騰対応
重点支援給付金

3,450 万円



上尾田橋



鳥獣被害対策

問 鳥獣被害への今後の対策は

町長 組織強化や活動支援を拡充して対応

【町長】 組織強化と活動支援を拡充して対応いただくため、二ホンジカ、イノシシ用くくり罠の購入費用及び狩猟免許取得費補助と猟銃等購入補助に要する



過去に設置した罠

【町長】 組織強化と活動支援を拡充して対応いただくため、二ホンジカ、イノシシ用くくり罠の購入費用及び狩猟免許取得費補助と猟銃等購入補助に要する

若者会議



問 若者の関わりが必要では 町長 貴重な意見を町政へ反映

【町長】 若者会議の委員や軽米高校生、役場職員も参加し、町づくりの提言をいただいている。貴重な意見を伺う場を継続したい。



若者会議の様子

町道路肩管理状況



問 町道の管理状況は 町長 状況把握に努め対策を講じる

【町長】 積雪等で通行に支障となる木や枝の確認を行い、緊急性の高いところから順次対応している。

問 冬期間の町道管理を伺う。

【町長】 地区への作業委託は安全管理のため予定していないが、意向を調査し、検討する。



かるまい文化交流センターの裁判の進捗状況

問 和解での決着はあるのか

町長 裁判所の判断に委ねられている



宇漢米館

【町長】 3月25日に追加資料等に係る第9回期日がオンラインにより行われる。町としても当初の主張はゆるぎないと考えており、また相手方の主張も歩み寄りを期待できる状況ではなく、和解を否定するものではないが、裁判所の判断に委ねられている状況である。

生涯スポーツの振興



問 令和6年度の生涯スポーツ振興の内容は 教育長 内容を工夫して実施可能な事業は継続する

【教育長】 人口減少、少子高齢化など社会情勢の変化から、活動が集団から個へ変化してきており、ニーズが多様化する中ではあるが、令和6年度はこれまで実施してきた事業の内容を改善・工夫することで実施可能な事業は継続しながら、今後のスポーツ振興の在り方について協議して検討していきたいと考えている。

かるまい文化交流センターの管理運営



問 オープニングイヤーの展開は 町長 町文化協会が主催して町民劇などを予定

【町長】 町文化協会が主催して町民劇、著名な歌手の招へい、演劇公演、映画上映会などを考えており、文化交流センター開館記念

問 オープニングイヤーとして、特別なイベントをどのように展開するのか。

【町長】 町文化協会が主催して町民劇、著名な歌手の招へい、演劇公演、映画上映会などを考えており、文化交流センター開館記念

問 宇漢米館が完了するまでに要した工事費等及び総事業費を伺う。

【町長】 物件移転補償費等を含む土地取得費に約1億2千500万円、総額32億4千400万円である。



たむら
田村 せつ

居場所「トコかる」の今後の運営

問 町の今後の支援は

町長 ステップアップ事業の活用を検討

問 町のチャレンジ事業支援金は3年で終了する。今後どのような支援を考えているのか。

町長 チャレンジ事業支援金はスタートアップ事業として3年間を限度としているが、今後はステップアップ事業として継続した支援が可能である。子ども食堂など新たな事業の取り組みはステップアップ事業の活用を検討している。



トコかる

問 子ども食堂を考えているが、今の借家は手狭である。旧図書館を利用したいが、考えを伺う。

町長 旧図書館は、電気・水道、施設の保守点検業務等は解約し、経常的な維持管理費を発生させない状態としており、今後の活用予定等は、公共施設等総合管理計画を基本としながら検討を行い、方針を示したいと考えている。

防犯カメラの設置の必要性

問 犯罪や不正行為を未然に防止、抑制することを目的として高速度道路インター周辺、役場入口周辺に防犯カメラを設置してはどうか。

町長 犯罪を防止し、安心・安全なまちづくりを進めるうえで、街頭や公共の場所に防犯カメラを設置する

ことは、被害を未然に防止するとともに、犯罪の早期解決に一定の効果があるものと認識している。例に挙げられました場所は、町内外から車の往来が多い場所でもあるため、本町の犯罪発生状況等を踏まえ、防犯関係機関と協議を進め、設置の必要性を判断する。



役場前交差点

問 防犯カメラの設置は協議して必要性を判断する



かみやま
上山 誠

町の子育て支援と高校支援

問 軽米高校存続に向けた支援は

町長 町外の中学校で魅力や活動内容を説明

問 町の「子育て支援日本一」のまちづくりの成果と、今後の子育て支援と少子化対策を伺う。

町長 子育て世代包括支援センター「めぐかる」、かるまい文化交流センターの子育て支援センター「ピコピコ広場」の活動を中心に、結婚支援事業、子育て世帯の安定した生活を支える各種事業、医療費対策、結婚、出産等のお祝い金事業、様々な助成、保育料等の無償化、各種手当、給付金、教育に関する事業等の既存の支援に加え、住民のニーズや要望、その時々に必要な対策、支援についても検討していく。

問 今後の軽米高校存続と1学年2学級維持のための町の支援を伺う。



岩手県立軽米高校

町長 軽米高校の進路実績やスポーツ、文化活動での活躍、地元企業と協力した商品開発など生徒の頑張りをしっかり保護者や生徒にPRし、多様化する進路選択の中でも軽米高校への入学者の増につなげていきたい。支援策の充実強化は、これまでどおり軽米高校教育振興会が行う各種支援への補助を基本とし、その中で更なる効果的な支援策と一緒に考えていく。

町の農業振興

問 有機農業への取り組みは

町長 環境負荷低減への支援を実施

問 「みどり」の食料システム戦略」実現に向けた町としての取り組みを伺う。

町長 工芸作物生産者への生分解性農業資材購入の補助、葉たばこ生産地力増進対策として、立枯れ病予防と合わせ葉たばこ残幹を利用した堆肥購入の補助を単独事業で行っている。国費活用事業では、環境保全型農業直接支払交付金の有機農業に取組む2組織を支援している。

問 有機農業の取り組み拡大に向けてオーガニックビレッジを2030年までに200市町村を目標にしているが、町が事業を活用して取り組むつもりなのか伺う。

町長 生産から消費まで一貫し、事業者や地域内外の住民を巻き込んだ体制づくりが重要であるため現段階ではオーガニックビレッジに取り組むことは難しいと考えている。



えごま畑



自然災害に対する町の取り組み

問 組織率の向上や育成の現状は

町長 結成・啓発とともに広報等による周知の実施

【町長】 建物や住宅等の耐震性の調査については平成18年度末時点において、昭和55年以前に建てられた木造住宅を推計により調査したところ非耐震化の割合が全体の約54%の2,205戸となっている。町では平成18年度から国・県の事業を活用して耐震診断と木造



軽米町木造住宅耐震診断支援事業申込用紙

住宅耐震改修工事の助成を行っている。
【町長】 自主防災組織の組織率向上や防災士の育成が必要と思うが、考えを伺う。
【町長】 災害時にはそれぞれの所属する地域の要請により、避難や救助・救命、避難所の運営にあたり、地域行政など公的な組織やボランティアの人達と協働して活動する、防災減災のリーダーとしての役割を強く期待さ

れているところであり、町としても自主防災組織の強化と併せ、町内から一人でも多くの防災士を誕生させ、地域の防災リーダーとして活躍していただけるよう、広報等による一層の周知と資格取得支援を継続したい。
【町長】 大規模災害が

発生した時は、町の対応だけでは限界があるため、自分の身は自分で守るとともに、普段から顔を合わせている地域や近隣の人々が集まって、互いに協力し、防災活動に組織的に取り組むことで、被害の軽減を図ることができるよう、地域防災リーダーである防災士の養成、自主防災組織の結成を進めるため、これまで以上に普及啓発活動を進めていく。



水害時の河川の様子



過去の「広報かるまい」のPDFデータ保存

問 ホームページの公開が必要では

町長 今後データとして保存することが必要



広報かるまい

【町長】 町の行政や出来事を町民に伝えるための重要な手段である「広報かるまい」は、平成18年から現在までのものは、現代社会に即応した情報発信機能とも言える町のホームページにもあり、誰でもインターネットを通じて閲覧が可能である。それ以前の昭和32年から平成17年のものは2冊の縮小版にまとめられて図書館に保管されている。

保存状態は現在の紙ベースで良いと考えているのか伺う。
【町長】 「広報かるまい」は昭和30年の市町村合併により現在の軽米町が施行された後、昭和32年1月1日付けで、記念すべき第1号が発行されている。以来、現在発行されている、令和6年2月号で779号を数えるに至っており、その間、66年余りにかけて、町の行財政の状況、町

民の皆様の暮らし、栄典表彰などを記録・保存してきた。当町の歴史を振り返るうえで、貴重な記録書と認識している。過去の「広報かるまい」のPDFデータ保存は平成16年度までの広報紙は紙での保存しか行っていないのが現状である。今後デジタルデータとして保存することは必要なことと認識しており、更に歴史資料としても利用価値があるも

のと考えている。
【町長】 紙ベースの広報紙は年月が経つほど保存状態が低下する。後世までしっかりと残すため、PDFデータ処理を行い町のホームページで公開することが必要だと思いが町長の考えを伺う。
【町長】 町村合併を経て様々な出来事等が集約されている。時間をかけてしっかりと歴史ある広報かるまいを保存していきたい。



町ホームページ

≪ 3 月定例会 ≫ 採決結果を紹介

番号等	案件内容	本会議の採決結果
議案①	軽米町課等設置条例の一部改正 〔機構改革に伴い、所要の改正をするもの〕	可決 (全員賛成)
議案②	軽米町総合開発審議会条例の一部改正 〔機構改革に伴い、所要の改正をするもの〕	
議案③	軽米町行政改革推進委員会設置条例の一部改正 〔機構改革に伴い、所要の改正をするもの〕	
議案④	軽米町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 〔行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律の改正に伴い、所要の改正をするもの〕	
議案⑤	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 〔機構改革に伴い、所要の改正をするもの〕	
議案⑥	軽米町児童クラブ設置条例の一部改正 〔軽米児童クラブの移転に伴い、所要の改正をするもの〕	
議案⑦	軽米町防災会議条例の一部改正 〔機構改革に伴い、所要の改正をするもの〕	
議案⑧	軽米町水道事業給水条例等の一部改正 〔水道法の改正に伴い、所要の改正をしようとするもの〕	
議案⑨	令和 5 年度軽米町一般会計補正予算（第 10 号） 〔2 億 3504 万 6 千円を減額し、総額 74 億 7119 万 8 千円〕	
議案⑩	令和 5 年度軽米町水道事業会計補正予算（第 1 号） 〔資本的収入を 491 万 1 千円増額し 6640 万 8 千円〕	
議案⑪	令和 6 年度軽米町一般会計予算 〔歳入歳出総額 66 億 2000 万円〕	可決 (賛成多数)
議案⑫	令和 6 年度軽米町国民健康保険特別会計予算 〔歳入歳出総額 10 億 6745 万 7 千円〕	
議案⑬	令和 6 年度軽米町介護保険特別会計予算 〔歳入歳出総額 937 万 4 千円〕	
議案⑭	令和 6 年度軽米町後期高齢者医療特別会計予算 〔歳入歳出総額 1 億 2307 万 7 千円〕	可決 (賛成多数)
議案⑮	令和 6 年度軽米町水道事業会計予算 〔収益的収入 3 億 3739 万 2 千円、同支出 3 億 3553 万 6 千円〕 〔資本的収入 6869 万 3 千円、同支出 2 億 8823 万 6 千円〕	
議案⑯	令和 6 年度軽米町下水道事業会計予算 〔収益的収入 1 億 5319 万 3 千円、同支出 1 億 5319 万円〕 〔資本的収入 6578 万円、同支出 7569 万 5 千円〕	
議案⑰	令和 5 年度軽米町一般会計補正予算（第 11 号） 〔990 万円を増額し、総額 74 億 8109 万 8 千円〕	可決 (全員賛成)
	議員派遣の件 〔令和 6 年度の議員派遣を認めるもの〕	
	人口減少・少子化対策調査特別委員会の閉会中の継続調査 〔次の定例会までの間、特別委員会の調査活動を認めるもの〕	
	議会改革調査特別委員会の閉会中の継続調査 〔次の定例会までの間、特別委員会の調査活動を認めるもの〕	
	委員会の閉会中の所管事務調査 〔次の定例会までの間、委員会の調査活動を認めるもの〕	

かるまい文化交流センター運営と敷地から排出された廃棄物の裁判

問 災害避難所としての役割は

町長 洪水以外の災害時は避難所として活用する



宇漢米館

【問】施設安全・災害、災害避難所としての役割を伺う。
【町長】開館時間内は職員による巡回点検、防犯カメラによる監視を常時行っており、夜間早朝で職員が勤務していない時間は、警備会社と連携して安全管理にあたっている。またかるまい文化交流センターのエリアは洪水浸水想定区域として県より指定されたことから洪水以外の災害で避難所として活用する。



えさしか しずこ 江刺家 静子

学校給食

問 高校生への給食費無償化の実施は
町長 教育振興会と効果的な支援策を検討する

【問】高校生の給食費無償化実施の考えはどうか。
【町長】高校生に給食を提供する体制を維持しながら、給食費の半額支援のほか多くの支援を実施している軽米高校教育振興会と効果的な支援策を考える。

【問】教育施設運営会職員の安定雇用につながる委託費の予算化の検討は。
【町長】安定的提供体制、安全安心な給食の実施に向けて財団法人軽米教育施設運営会に委託しており、安定運営につながっている。



学校給食

児童クラブ（学童保育）運営

問 利用料の引き下げの検討を
町長 現行の利用料を維持して質の向上に努める

【問】保護者の負担軽減として利用料の引き下げの実施について伺う。
【町長】利用料は月額 5 千円としているが同時利用の場合は 2 人目以降 5 割免除、非課税の一人親世帯の 5 割免除を実施することにより、子育て世帯の負担軽減に努めている。現行の利用料を維持して質の向上に努めたい。

【問】指導員の待遇について伺う。
【町長】県主催の研修会や児童厚生員研修などへの参加を積極的に進めており、支援員の資質向上に努めたい。

意志の疎通が大切

今回の受賞大変うれしく思います。町民の皆さんに読んでもらう為にはどうあればいいのか、委員みんなで研修を重ね、意志の疎通を図り、取り組んできました。その成果が認められたと思います。今後も委員みんなで頑張って参ります。
委員長：田村せつ

広報紙が入選して

町民の皆さんが議会のことに、興味を持ってもらえるような議会広報紙になるよう取り組んできました。これから委員全員で読み手に解りやすく、手に取ってもらえるような広報紙の作成を心がけていきたいです。
副委員長：上山誠

岩手県町村議会広報コンクール 「入選（一席）」を受賞



議会報編集常任委員会

令和5年度の岩手県町村議会広報コンクールで、入選一席を受賞しました。コンクールでの受賞は令和3年度以来4度目の受賞となります。審査では、レイアウトや余白の使い方が秀逸、項目ごとに明確化して内容を詰め込みすぎない紙面などが評価されました。今後町民の皆さんに手に取ってもらい、読みやすく分かりやすい広報紙づくりに努力していきます。

町政調査会の活動報告

軽米病院との意見交換会



軽米町町政調査会会長挨拶

軽米町町政調査会（大村税会長）は2月13日に、県立軽米病院との意見交換会を行いました。葛西敏史院長から「岩手県立軽米病院の現状と課題」の講義をしていただき、県北医療の現状や医師不足について様々な課題があることを実感しました。また質疑応答でも活発に意見や質問が出て充実した意見交換会になりました。



軽米町町政調査会副会長司会進行



軽米病院と軽米町議会の集合写真

まちの名所めぐり vol. ④ 観音林の一里塚

観音林の一里塚は町内に現存する唯一の一里塚です。観音林集落には、八戸街道を唯一参勤交代に利用した八戸藩主が休憩する「御飯屋」があり、この観音林集落のほずれに観音林一里塚があります。現在は北側の1基のみ残っています。



町内に現存する唯一の一里塚



観音林の一里塚

今回の表紙

【放課後児童クラブ】

農村勤労福祉センターから旧軽米幼稚園へ場所が移転となった放課後児童クラブ。実際に移転してどこが良いかと児童に質問したところ「こっちの方が広くて楽しい」と笑顔で答えてくれた。その他に今年から児童クラブに来て「別の学校の人と遊べてうれしい」という児童もいた。広くなりのびのびと遊べるため、それぞれが思い思いの遊び方で楽しんでいた。



かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. ③④

つるがい めぐみ
鶴飼 恵さん

二戸市出身 (鶴飼)

夫・長男・長女・義父・義母・義曾祖母の7人家族

なおき
夫・直樹さん

ゆうり
長女・悠里ちゃん

とたろく
長男・琥太郎くん

結婚を機に軽米へ

☞ 軽米町で暮らすきっかけは？

二戸市で暮らしていましたが、結婚を機に家族で軽米町で暮らすことにしました。

☞ 軽米町に来る前や来てからの印象は？

軽米高校に通っていたので非常に懐かしい気持ちになりました。穏やかでのんびりとした空気感の町だと思います。

これから必要なこと

☞ 今後の軽米町に必要なと思うことは？

放課後子ども教室の他に洋野町や二戸市にあるような、放課後デイサービスのよう施設、場所があれば非常に助かります。

子育て支援

☞ 軽米町の良いところは？

子どもの医療費が無料で、他県の病院でも戻ってくるので、育児の補助や出産までの補助が充実していて他の市町村よりも補助が多く子育ての負担が少なくなっているところが良いところだと思います。

☞ 更に良い町にするため必要だと思うことは？

入学する際に必要になる教科書や体操着、タブレットの購入費などの補助があればより子育てのしやすい町になると思います。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町にいられた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

かるまい
議会だより

発行日 令和6年5月15日発行 (No. 237)
発行者 軽米町議会 議長 松浦 満雄
編集 議会報編集常任委員会
〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335
URL <https://www.town.karumai.iwate.jp/>

せつ 誠典康志 隆
村山 祐鉦正
田中 斐村屋
上田 甲中茶
委員長
委員
副委

議会報編集常任委員会



軽米町議会だより
はこちらから